

★24日、日本共産党の市田忠義書記局長は、復興増税のうち法人税分の廃止を1年前倒しする動きが政府内で強まっていることについて、「庶民には消費税率を8%へ引き上げ8兆円も増税しようとしながら、景気が腰折れするから」と『景気対策』と称して大企業にはらまくもので、悪代官みたいなやり方だ」と批判。

赤旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾英宣
千代180
Tel 33-6118

【地方税財源の充実確保を求める意見書】

消費税増税は認められない

二十日、砺波市議会本会議（最終日）に議員提出議案第6号「地方税財源の充実確保を求める意見書」が全会一致で採択されました。

今日、地方自治体の財政が困難に陥っている根本的な原因は、地方交付税の大幅な減額と、景気低迷による市民の厳しい暮らしを反映しての税収減があります。意見書の「社会保障関係費の増などの地方の財政需要を、地方財政計画に適格に反映することなど地方交付税の増額による一般財源総額の確保」「財政力の弱い

自治体に対し、地方交付税の本来の財政調整機能、財政保障機能が政府の責任において果たされること」については賛同するものです。

「地方消費税の充実」は消費税増税を求めることにならないか？

しかし、意見書では、「地方財源の充実確保を図るため、地方消費税の充実」を求めており、ここが気にかかります。消費税法では、地方消費税の税率は国の消費税率の25%とされています。国の消費税率は4%ですから、地方消費

税は消費税率に換算すると1%に相当し、国の消費税と地方消費税を合わせて5%です。「地方消費税を充実させる」という主張は、地方が国に対して消費税増税を求めることになってしまっているのではないのでしょうか。

消費増税に よらない財源確保を

相つぐ大企業の法人税の税率引き下げや連結納税制度の創設、研究開発減税の大幅拡充などの優遇税制での年間減税額が5兆円、株式配当や株式売却益への課税引き下げなどで年間2兆円、これらの行き過

ぎた優遇減税を小泉構造改革前の水準の税率に戻すだけで年間7兆円もの財源が生じます。あくまで、消費税の増税によらない地方財源の充実・強化をこそ求めるべきです。

9月市議会のなかで消費税増税について市長は、「必ず必要になるもので、避けられない」との考えを示しました。

しかし、消費税は、所得の低い人ほど負担が重いという逆進性をもつ最悪の不公平税制であり、国民の購買力を奪い、地方経済の回復を阻害し、地方財源の充実確保にも大きく影響を及ぼします。

だからいま、「いずれは増税が必要」と考える人々のなかにも「来年4月からの増税は中止を」の一点での共同が広がっています。

赤旗日曜版を読んで

(九月二十二日号)

秘密保護法案(19画)

「原発事故も政府の判断で隠される恐れがあります」と清水弁護士。「何が秘密かは秘密」というのは、「自衛隊が行っているところが非戦闘地域」みたいな言い方です。国が「秘密」といえば「秘密」になって、一般市民も処罰の対象になるなんて、まさに戦前！▼十月の臨時国会に法案提出、成立を狙っているようですが、いったい誰がこの法律のことを知っているのでしょうか。「国民に知られないうちにやっつけてえ」ということだとしたら、とんでもないことです▼この間の原発汚染水問題をみても、清水弁護士の「重要な情報こそなるべく公開した方が、国民の判断材料が増え、政府への信頼が高まります」という言葉は、そのとおりだと思います(四十代女性)

★24日、日本共産党など野党の党の書記局長・幹事長が会談。共産、民主、みんな、生活、社民の5党が、東京電力福島第1原発の汚染水漏れや消費税増税、TPP、災害対策、シリア問題などについて審議するために、速やかに臨時国会を召集するよう強く求める」とする要求書を政府に提出することで一致。

【ただのつばき】

20日 市議会本会議を傍聴
 記事によると、「子供」の表記は一九七三年の内閣訓令で、漢字表記とされましたが、「漢字より柔らかな印象がある」として、



【講演】杉島幸生さん
 TPP反対の非議士ネットワーク



TPPのルールに反する国内法や自治体の条例は改廃の義務が生じます。憲法の国民主権から「多国籍企業主権」に代わる危険なものが話されたそうです。

第2部
 【シンポジウム】

宇川 純矢さん
 JA富山県青壮年組 協議会会長
 酒井 富夫さん
 富山大学教授
 広瀬 妙子さん
 新日本婦人の会富山県本部会長
 与島 明美さん
 富山協立病院院長

どなたでも参加できます
シンポジウム・ストップTPP in 富山

TPPは私たち自身の問題です 秘密交渉で大丈夫? 国益って誰のため?



「知らなかつたのではおられない、知らないTPPといつてみんなで考えよう。」

協力費 500円

【よびかけ人】 穴田基朗 (JA富山中央会会長)・稲垣よし子 (CO-OPとやま理事長)・大橋国昭 (富山県食健康代表)・酒井富夫 (富山大学教授)・田口清信 (富山県農業会議会長)・矢野博明 (富山県保険医協会会長) ※50音順

10月14日(月・祝)午後1時半~ 富山駅前 CiCビル5階ホール

連絡先 国民の食糧と健康を守る運動富山県連絡会 砺波市大門595 ☎0763-32-6686(富山県農民連)

【続 きんごの日記】

21日 甘く見てました：最後のコシヒカリの刈り取りが最後に残りました。田んぼが残りませんでした。遅く田植したせいか色が遅くまで濃い緑だったのと、水をあてつ放しして、十日以上前に水を切ったと言っても土が柔らかいだろうから少しでも干そうという事からです。

子どもは、戦前のように、おとなの「お供」でも、神仏の「お供え」でもない、人権を持った人間だという考えがあり、「子ども」と表記するものと、私は理解していましたし、じゅうぶん世の中に普及しているの、「今さら何を」と：こういうことをあえて徹底しようというときは、何らかの思惑がある気がします。道徳教育の強化や、子どもの管理・強制がすすむなか、単純に見過ぎしてはいけない気がします。そういうえば「ニホン」か「ニッポン」か、というのも、「どちらでも良いけれど、政府としては「ニッポン」を使う」というのもありましたね。

（何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-33369-8216）

イママークのところまでメーターが落ちてしまっていました。通常の五倍の浪費でした。いったいどうしてそんな事になったのかというところ、まずコンバインが思った方向を向いてくれないのです。右にまじを切っているのに機械はまっすぐにしか進んでくれない、仕方がないので後ろに下がりがら向きを変えない、雪道でも後ろに進まない、雪道でわだちにはまった自動車状態です。必死に脱出して比較的地面の固い部分をなんとか刈ってくるのですが、操作不能になる危険な場所にまた戻って来なければなりません。なぜならそこに稲があるからです。そのうち、刈り取りのための稲の掻き揚げ部分が詰まったり、脱穀に入る所が詰まったりという事が頻発するようになって、その度に機械から降りてコチンコチンのぎゆう詰めを引つ張り出すのに汗をかいたのですが、足元は長靴がずぶずぶと沈んで一足ごとに引つ張り上げないと歩けない状態でした。

コンバインを移動せず全部手で刈って脱穀だけさせようかと、半分刈り上げたのだから残り半分は田んぼにすき込んで天然肥料にしてしまおうかと、様々な思いを交錯させながらの壮絶な稲刈りでした。

妻が「来年もこんな事はせんでやろうね」と念を押したので、「うん、こんな事ではあかんね」と答えはしました。が「無農薬無化学肥料栽培はちよつと捨てがたい気も：：鳴もたくさんやつて来るし